PUBLICITY NEWS 105

学院広報 2016.5.10

平安女学院がマスコミに報道されました！！

平安女学院で第28期囲碁女流名人戦

謝、9連覇へ先勝

第28期囲碁女流名人戦 本社主催 第1局

先番 女流名人 謝依旻
八段 青木喜久代
持ち時間各3時間
黒6目半コミ出し
225手完
黒中押し勝ち

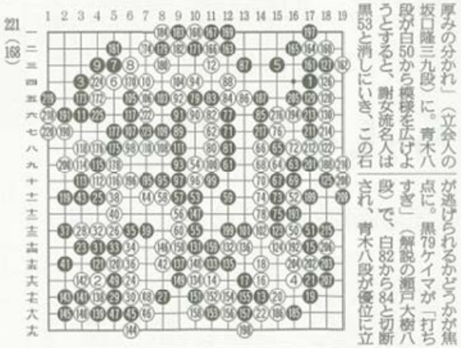
9連覇を目指す謝依旻女流名人(26)＝女流本因坊・女流棋聖＝に青木喜久代八段(47)が挑む産経新聞社主催の囲碁タイトル戦「第28期女流名人戦三番勝負」第1局(平安女学院大協力)が3日午前9時半から、京都市上京区の同大「有栖館」で行われ、午後6時2分、225手までで謝女流名人が黒番中押し勝ちした。残り時間はともに1分。第2局は9日、大阪府東大阪市の大阪商業大で行われる。

序盤、左下での折衝は黒49まで、「黒の実利、白の厚みの分かれ」(立会人の坂口隆三九段)に。青木八段が白50から模様を広げようとすると、謝女流名人は黒53と消しにいき、この石が逃げられるかどうかが焦点に。黒79ケイマが「打ちすぎ」(解説の瀬戸大樹八段)で、白82から84と切断され、青木八段が優位に立ったかと思われた。

しかしその後、白92と黒2子を取りに行ったのが青木八段の痛恨の一手。「ここで93の左に打っておけば、黒は右上に逃げるしかなく、白の方に楽しみが多かった」と瀬戸八段。黒93が急所で117まで、黒の一団が生きてつながり、黒が優勢に。この後、青木八段にもチャンスはあったが、謝女流名人が強手の連続で押し切った。

先勝した謝女流名人は「ずっと苦しかった。もう少し内容のいい碁を打てれば」と勝って反省。青木八段は「なんとか攻めようと思ったが、攻め損なった。次は思い切りやるだけ」と雪辱を期した。

9連覇に向け、まず第1局を制した謝依旻女流名人＝3日、京都市上京区の平安女学院大「有栖館」(志儀駒貴撮影)



2016.3. 4産経新聞

家族と楽しみたい

平安女学院大学の 橋本愛菜さん

5年連続して女流名人戦が開催された京都・平安女学院大学の国際観光学部に在籍する橋本愛菜さんは「通学の20分を利用してスマホの9路盤、13路盤ゲームをしています」と話す。家族に教えることができたら…との動機で昨年末まで半年間、囲碁の講義を受講。教える前に、まずは自身のレベルアップを目指す。

対局翌日の謝依旻女流名人に指導碁を受けた。「3人を相手にしているのに着手が早くて…」とプロの凄さを実感したよう。4月からは3年生。ホテル業界への就職に関心をもつ。「相手の気持ちを考えて行動することは、囲碁を通してでも養えるのでは」

週刊碁的 囲碁ガール

謝女流名人の指導碁でプロの凄さを実感した橋本さん

2016.4.4 週刊「碁」

女流名人戦 きょう第1局

産経新聞社主催の囲碁タイトル戦「第28期女流名人戦三番勝負」第1局(平安女学院大協力)が3日、京都市上京区の同大「有栖館」で行われる。

今期は、9連覇を目指す謝依旻女流名人(26)＝写真右＝に、9期ぶりの三番勝負出場を果たした青木喜久代八段(47)＝同左＝が挑む。昨秋、女流本因坊を奪還し、今年2月には女流棋聖を防衛した謝女流名人が第一人者の貫禄を見せるか、女流名人通算5期の青木八段が久々の戴冠となるか、注目の対局だ。

謝女流名人は「ここまで連続して勝つことができたので、もう少し上を目指したい」、青木八段は「プロを長くやっている分、いろんな経験をしている。心のゆとりは謝さんよりはあるかもしれない」と話し、火花を散らせている。

持ち時間各3時間の1日打ち切り制で、立会人は坂口隆三九段。午前9時半の対局開始から、Webサイト産経ニュースで棋譜中継を観戦できる。

最短30分でお届け ビック超速便 ビックカメラ

2016.3.3 産経新聞

名人と挑戦者 健闘誓う

平安女学院大で前夜祭

前夜祭で握手を交わす謝依旻女流名人(左)と青木喜久代八段＝京都市上京区の平安女学院大(志儀駒貴撮影)

きょう囲碁「女流名人戦」

産経新聞社主催の囲碁タイトル戦「第28期女流名人戦三番勝負」の第1局がきょう3日、平安女学院大学が所有する登録有形文化財「有栖館」(京都市上京区)で開催される。2日夜には、9連覇を目指す謝依旻女流名人(26)と、挑戦者の青木喜久代八段(47)ら関係者が集い前夜祭が行われた。

平成19年まで京都地裁の所長宿舎として使用されていた有栖館で対局が行われるのは5年連続。自身も5度目となる登場に、謝女流名人は「今年も京都で打てることが幸せ。あすは長い一日になるでしょうが、しっかり打ちたい」と宣言。一方の青木八段は「京都に来るのは久しぶり。趣のある素晴らしい環境なので、いい碁が打てるはず」と語った。同大学の山岡景一郎理事長は「お二人の健闘を祈っています」と激励した。

3日午後2時からは、同大学室町館Mホールで大盤解説会が行われる。瀬戸大樹八段が進行を説明する。ファンが次の一手を予想する企画も用意されている。入場無料。

2016.3.3 産経新聞

プロ棋士 学生に指導

囲碁女流名人戦会場の平安女学院大

平安女学院大学の学生に囲碁を教える謝依旻女流名人

囲碁タイトル戦「第28期女流名人戦三番勝負」第1局の対局場だった京都市上京区の平安女学院大学で4日、プロ棋士が学生らに碁を指導するなど交流会を行った。

参加したのは3日に対局した謝依旻女流名人(26)と挑戦者の青木喜久代八段(47)。

囲碁棋士とは接する機会がないため、学生からは「勝負の世界は大変そう。つらくないですか」との質問が寄せられた。これには謝女流名人が「負けて落ち込む日もあるけど、子供のころから好きだった囲碁を仕事にできるのは幸せ」と返答。

また、囲碁から学ぶことはとの質問に、青木八段は「勝ち負けにこだわらず、楽しんで。次にどう打つか考える訓練は、社会に出て役立つはずだから」とアドバイスしていた。

通常より小さな碁盤を使って、謝女流名人に指導を受けた国際観光学部2年の久枝鈴奈さんは「大学での囲碁の講義がきっかけで月に数回、友人と楽しんでいる。時間をかけ考えた手に、学生3人を相手にしているのにすぐ打ってこられた。プロはすごい」と驚いていた。

2016.3. 5 産経新聞

「自信になった」いざ韓国参戦へ

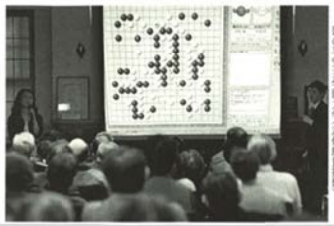
女流名人9連覇 謝依旻さん(26)

2016.3. 17 産経新聞

「プロの視点、ためになる」

囲碁「女流名人戦」大盤解説会に100人

産経新聞社主催の囲碁タイトル戦「第28期女流名人戦三番勝負」の第1局が3日、平安女学院大学「有栖館」(京都市上京区)で開催されたのにあわせ、同大学内で大盤解説会が行われた。



大盤解説を行う瀬戸大樹八段と、平安女学院で囲碁を教えるインストラクターの今村康子さん(左)＝京都市上京区の平安女学院大学(志儀駒貴撮影)

9連覇を目指す謝依旻女流名人と、挑戦者の青木喜久代八段の対局を、若手実力派の瀬戸大樹八段と、同学院で囲碁を教えるインストラクターの今村康子さんが軽快な語り口で解説した。

瀬戸八段は「調子がよくない時期もあるはずなのに、一つのタイトルを続けて勝つというのは同じプロとして尊敬する」と、第一人者の謝女流名人の活躍を評価。「よいと思った手でも後から失敗だったと思うことがよくある。いかに冷静でいられるかが大切」と自らの経験をもとにした対局者心理の説明に、集まった約100人のファンは聞き入っていた。

囲碁歴30年という京都市の高田和代さんは、昨年に続き解説会に参加。「アマ五段を目指しており、プロ棋士の解説はためになる。スポーツと違って、男性と対等に勝負できるのが囲碁の魅力です」と話していた。

2016.3. 4 産経新聞

有栖館で来月3日 囲碁「女流名人戦」

大盤解説会も

産経新聞社主催の囲碁タイトル戦「第28期女流名人戦三番勝負」の第1局が3月3日に、平安女学院が所有する登録有形文化財「有栖館」で開催される。同館での対局は5年連続。

今期の三番勝負は9連覇を目指す謝依旻女流名人(26)＝写真㊨＝に、青木喜久代八段(47)＝同㊧＝が挑む。謝女流名人は現在、女流本因坊・女流棋聖も保持し、タイトル獲得通算22期は女流棋士として歴代最多。一方の青木八段も女流名人5期など、歴代2位となる通算11期の実績を誇る。

有栖館へは入場できないが、3日午後2時から平安女学院大学室町館Mホール(上京区烏丸通下立売西入)で大盤解説会が行われる。若手実力派棋士の瀬戸大樹八段が、対局者心理を分析しながら進行を説明する。ファンが次の一手を予想する企画も用意されている。入場無料。

2016.2.23 産経新聞